



ASAHI
YUKIZAI

はじめて&No.1のニッチトップ企業

旭有機材株式会社

証券コード 4216 (化学)

代表取締役社長執行役員

中野 賀津也

2023年8月8日

有機材って



KEYWORD

樹脂



合成



製品化



実装

(エンジニアリング)

旭有機材は、上流から下流までを備える稀有な企業

1 会社概要

P5~

- 事業概況
- 旭有機材グループの沿革
- 旭有機材グループのグループネットワーク
- 経済産業省2020年度版
「グローバルニッチトップ企業100選」に選定

2 事業概要

P14~

- 主力事業の管材システム事業
- 樹脂事業
半導体向けが拡大する電子材料
現場発泡断熱材・素形材
- 環境に貢献する水処理・資源開発事業

3 2023年度予想等

P29~

- 全社損益予想
- 配当について
- 株価の推移
- 第1四半期損益

4 中期経営計画について

P34~

- GNT2025~2030年度に向けて
- 事業成長のための主な施策
- 投資・財務戦略、株主還元方針

5 補足資料

P38~

- 会社情報
- 事業説明図（活躍場所）
- ESGへの取り組み
- 事業活動とSDGsの関係
- 財務データ（2013年度~2022年度）

1 会社概要

旭有機材グループ 3つの事業領域

水処理・資源開発

(水処理・資源開発事業)



管材バルブ

(管材システム事業)

ASAHI AV

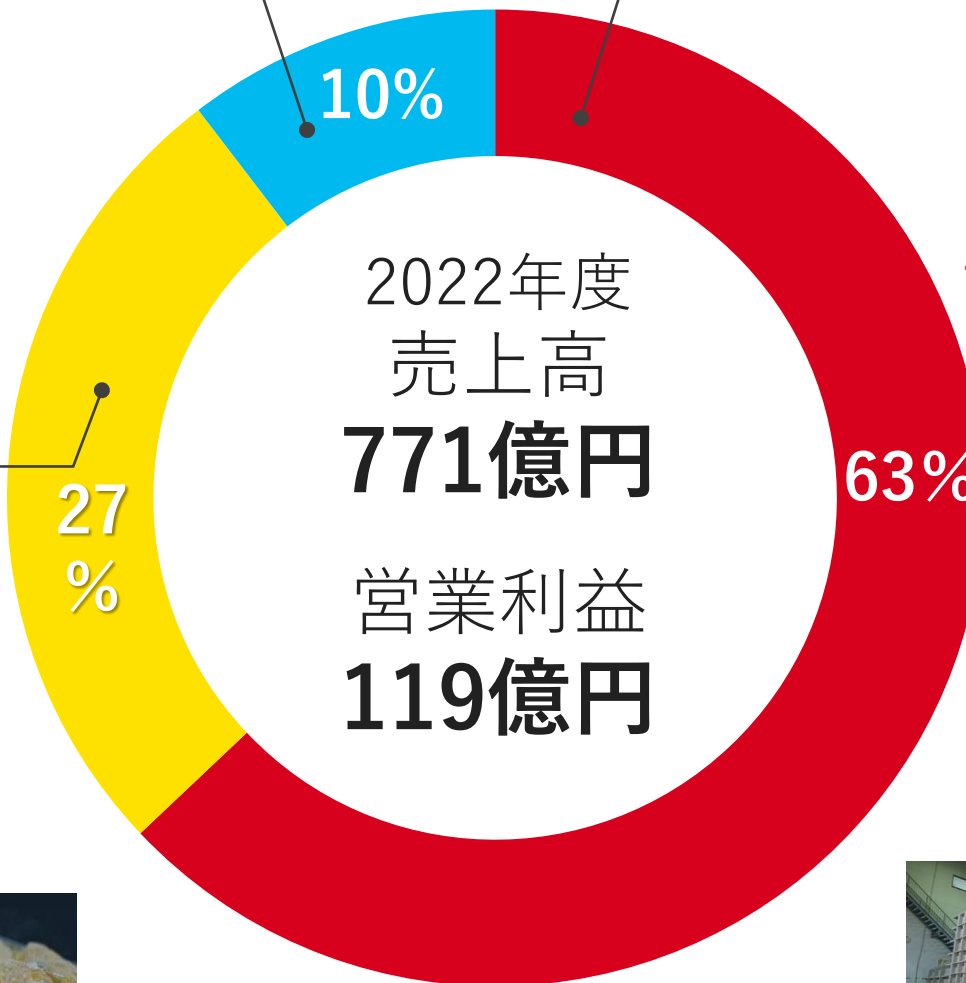


Dymatrix™



樹脂事業

(樹脂事業)



1945

はじまりは、航空機部品から

不足する金属材料の代わりに、木材と樹脂（ベニヤ）で航空機部品を製造する
「日室航材工業株式会社」として誕生



1950

樹脂事業を開始

戦後、普及しつつあった電話機（黒電話）筐体への
採用を機に樹脂成形材料を本格展開



1956

世界で初めて樹脂製バルブを事業化

プラスチック成形としては世界初となる

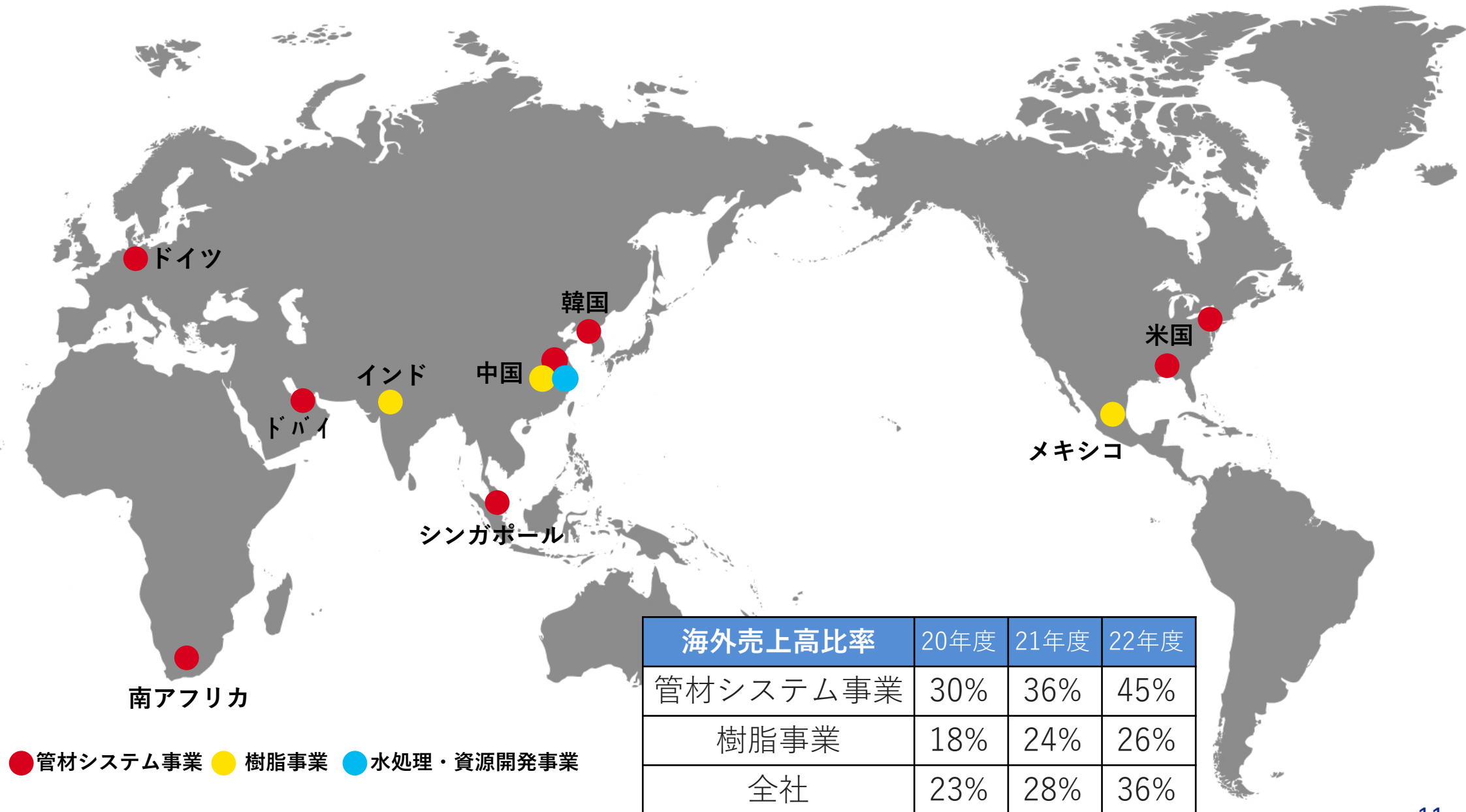
樹脂製バルブ「ASAHI AV」シリーズを世に送り出す

1990

フォトレジスト用樹脂

2000

半導体製造装置向
小型精密バルブ



経済産業省2020年度版

「グローバルニッチトップ企業100選」

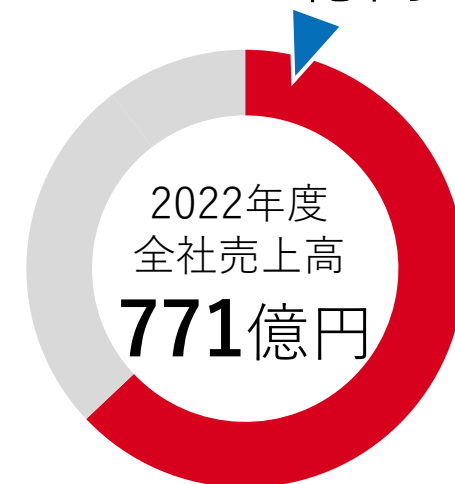
(素材・化学部門) に選定



「はじめて」 & 「No.1」 で ニッチトップ企業

2 事業概要

485億円



2-1

主力事業 管材システム事業

特殊分野で
強みを発揮

金属バルブのほうが一般的だが
腐食・金属溶出を嫌う場面で活躍



製鉄・化学・非鉄金属



水族館・漁業



農業



半導体

ASAHI AV

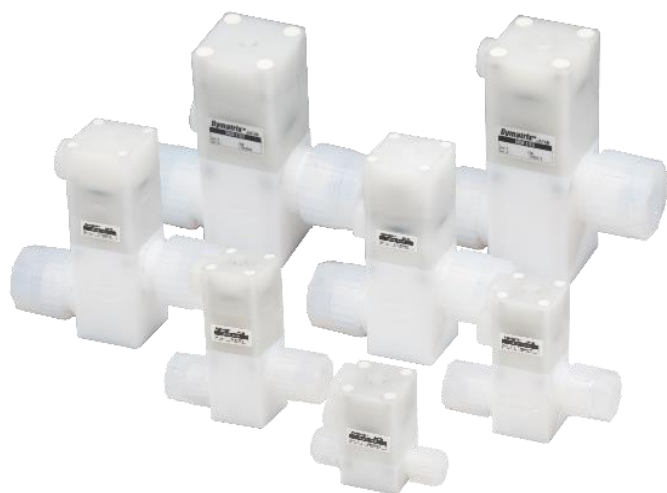


Dymatrixの 用途・特性

半導体製造の前工程（洗浄装置内やCMP装置内）で使用
厳しい要求に高い技術力で対応

「Dymatrix」

洗浄工程で使用される



低パーティクルバルブ

Dymatrix™

「ファルコニクス」

CMP工程で使用される

* CMP：ウェーハ表面 研磨工程



高精度流量制御機器

206億円



2-2

樹脂事業

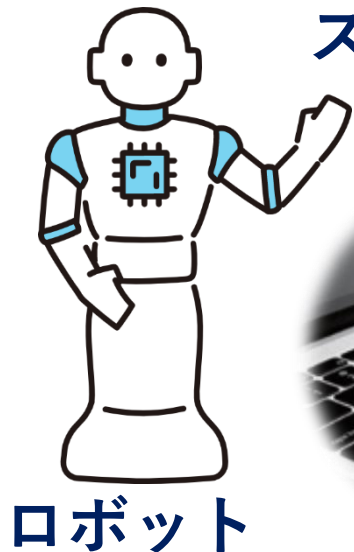
半導体向けが拡大する電子材料
現場発泡断熱材・素形材

電子材料 の用途

レガシー半導体・先端半導体の
フォトレジスト材や下層下地材

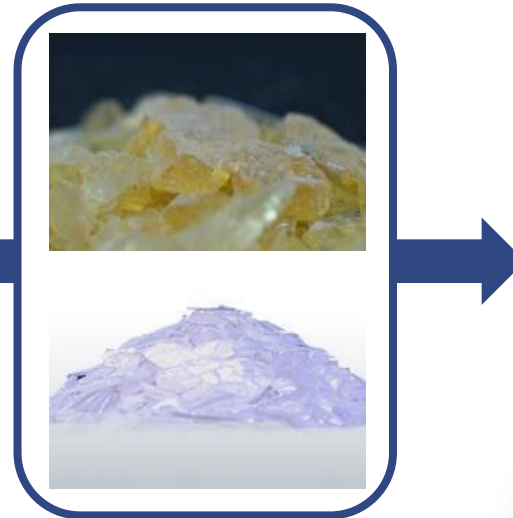
レガシー半導体

アナログ半導体、パワー半導体、
オプト（LED）半導体、センサー



先端半導体

メモリー、マイクロ、ロジック



◆ 電材第二工場：レガシー半導体・先端半導体用レジスト材料を製造予定

工場建設の概要：

場 所 愛知工場内

着 工 2022年12月

竣 工 2024年 6月予定



◆ 南通電材工場：FPD・レガシー半導体に使用するレジストの中国国内需要の更なる拡大に対応

生産能力は従来の1.5倍に

設備増設の概要：

場 所 中国南通工場内

着 工 2023年 2月

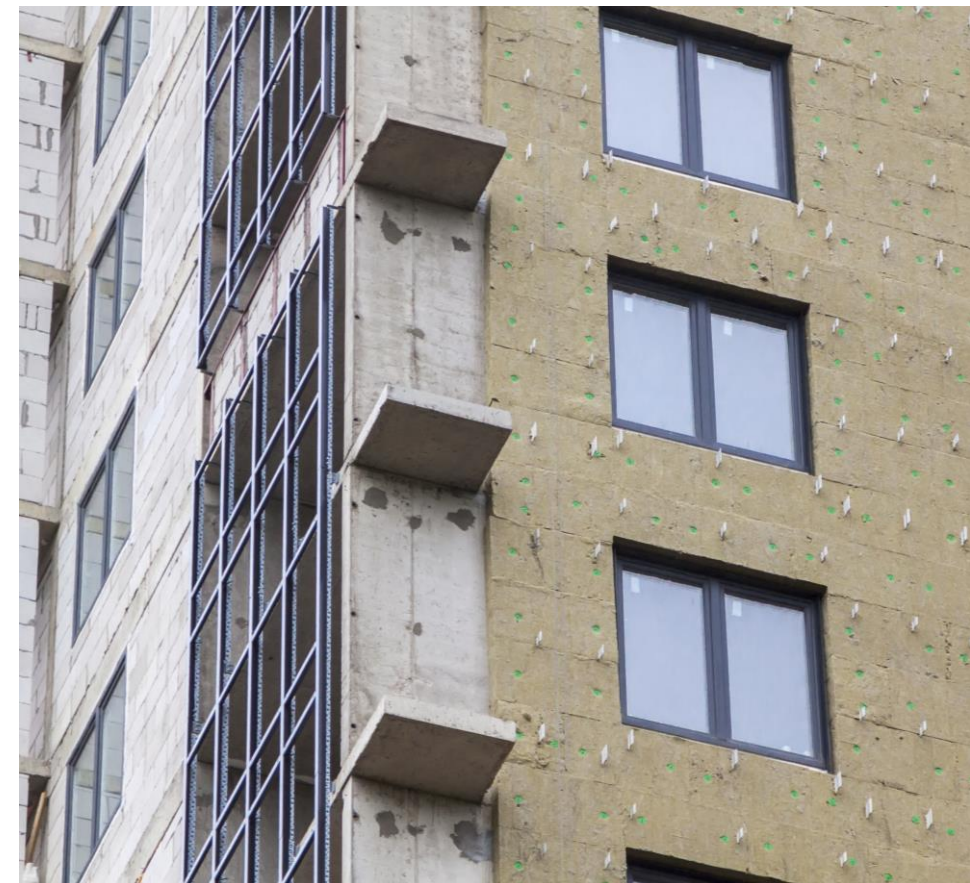
稼 働 2024年 5月予定



「現場発泡断熱材」 の特徴

マンション・商業施設・倉庫・冷蔵庫などに使用
複雑形状部へ施工でき、効率良く気密性高い断熱工事が可能

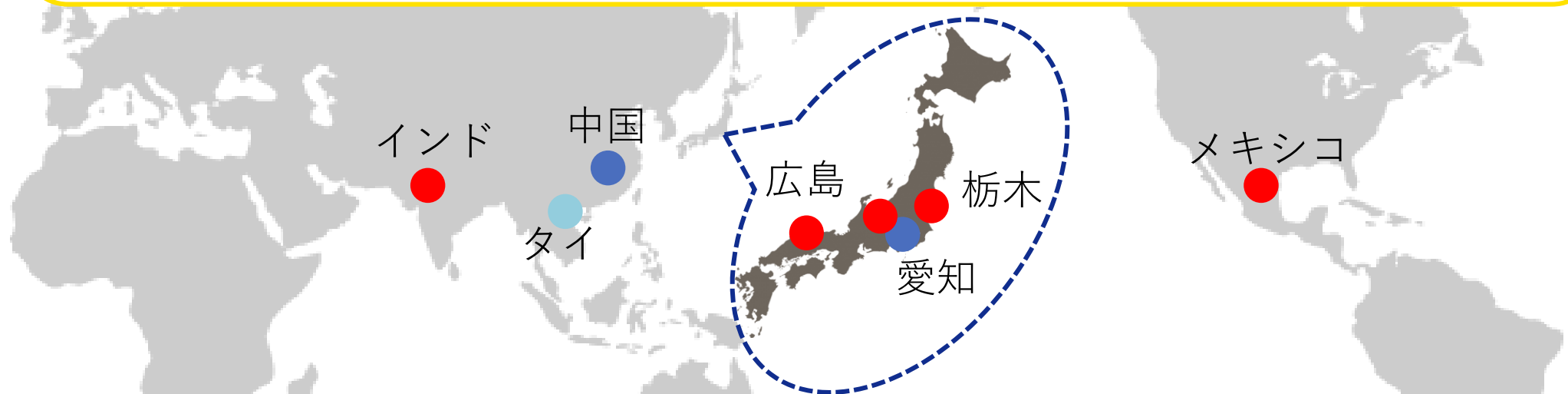
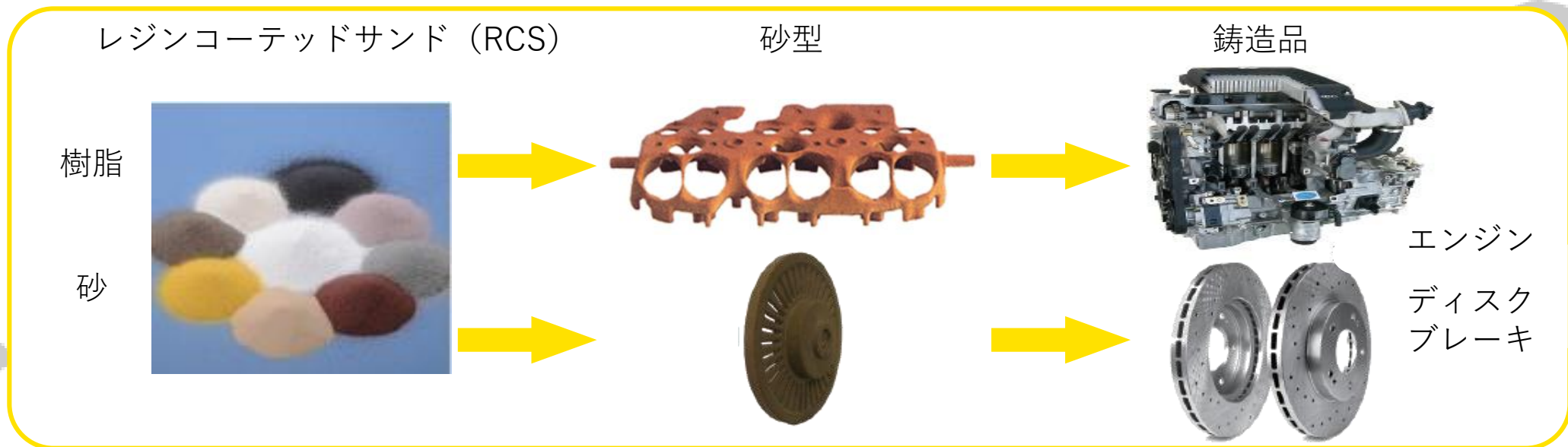
今後、ZEH・ZEBの増加で需要拡大が見込まれる





素形材製品の用途

エンジン部品等の鋳造プロセスで使用
自動車関連メーカーの生産活動地域に工場を設置



● RCS工場 ● 樹脂工場 ● 技術供与・業務提携先

自動車のEV化 の進展

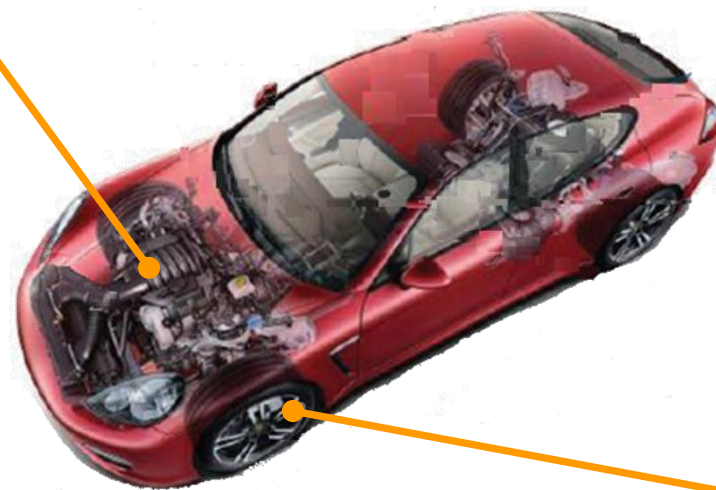
当社にとって新たな**チャンス**
高付加価値品で差別化

新たな需要

エンジン部品



バッテリーカバー



継続する需要

ブレーキ・駆動部品

これまで以上に
薄肉軽量化・複雑化

高度な技術が
必要とされる

80億円



2-3

環境に貢献する

水処理・資源開発事業

2013

旭有機材の子会社となる
水処理・資源開発事業としてスタート



2019

中国事業を開始
環境薬剤事業を開始

2000

中水事業を開始



1952

地熱発電用蒸気井
を日本初掘削

「はじめて」地熱発電用蒸気井を日本初掘削

「No.1」

温泉掘削件数
大規模商業ビルの中水処理施設施工実績

1950

湘南ドリリング株式会社を設立

掘削実績MAP

★温泉井戸 約400本

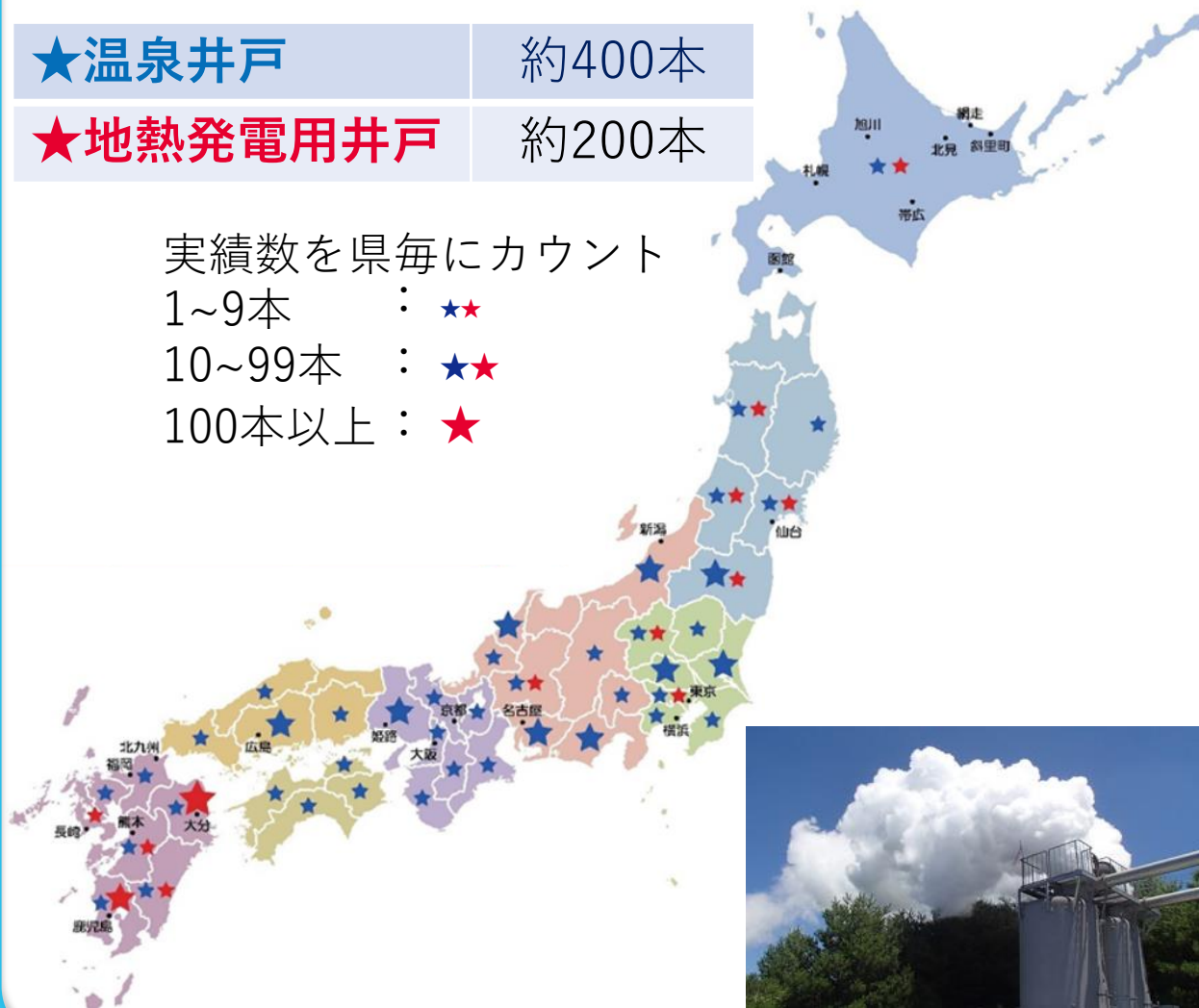
★地熱発電用井戸 約200本

実績数を県毎にカウント

1~9本 : ★★

10~99本 : ★★★

100本以上 : ★★★★★



中水処理施設：主な案件

羽田空港
(第1・第2・国際) ビル

東京ミッドタウン

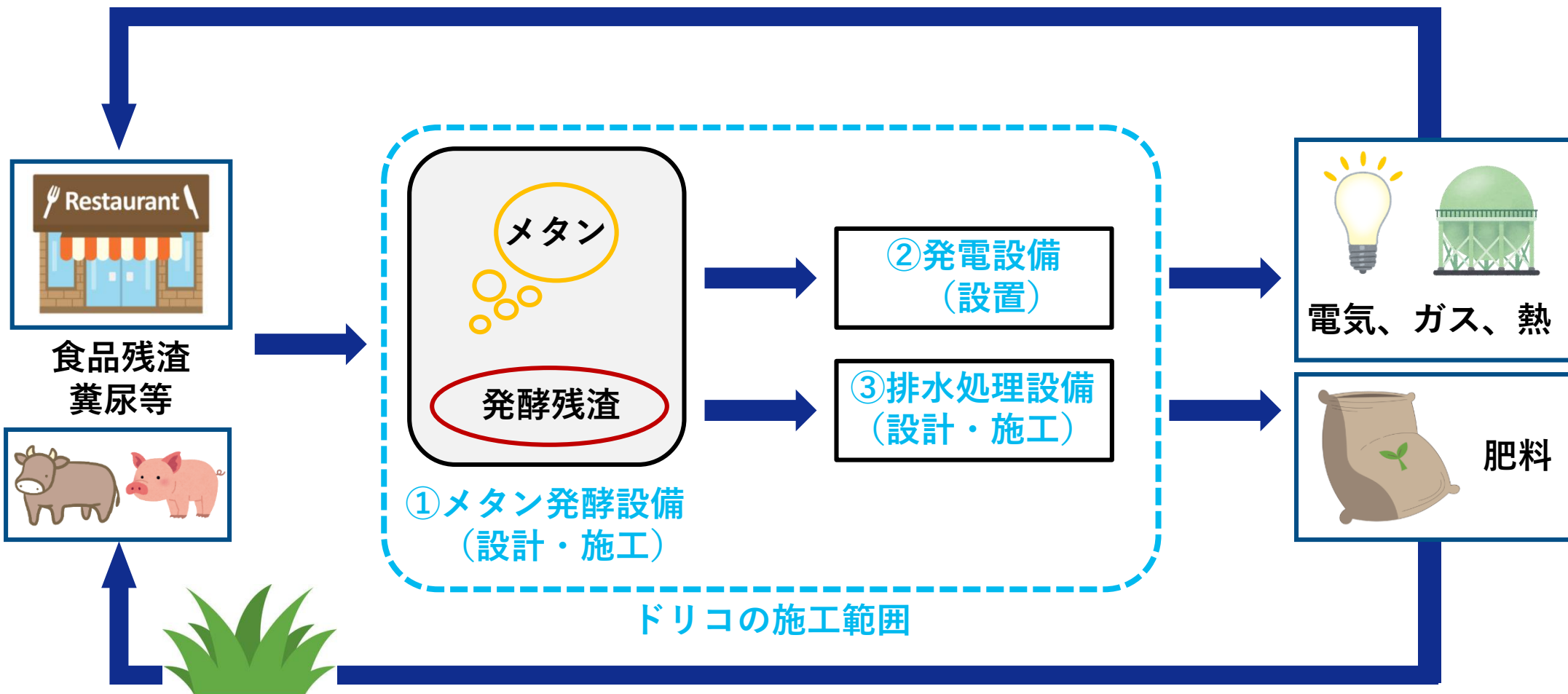
グラントウキョウ ノースタワー

飯野ビルディング

中部国際空港セントレア



排水処理技術を活用して、**循環型社会**に貢献



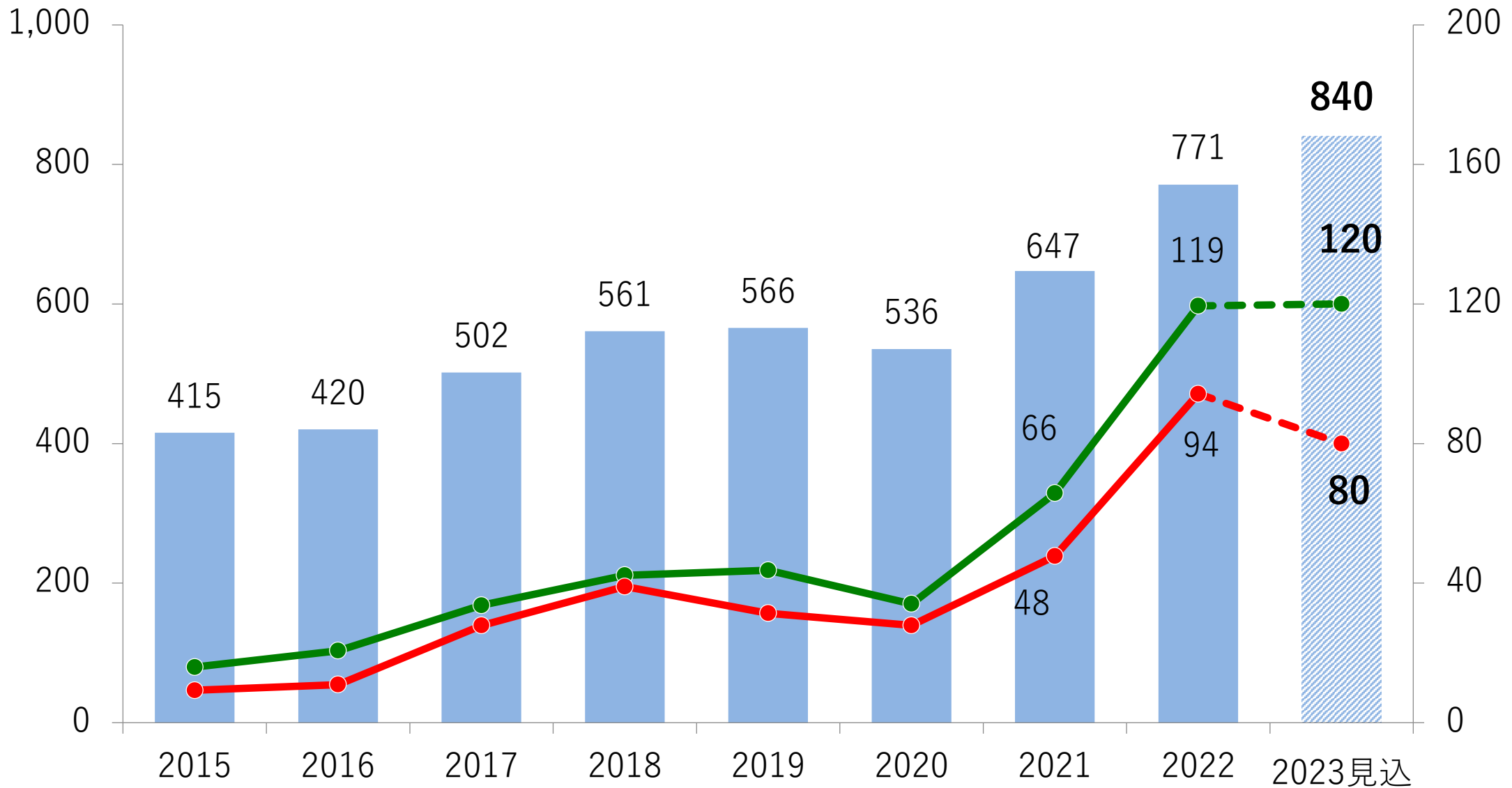
3 2023年度予想等

通期損益見込

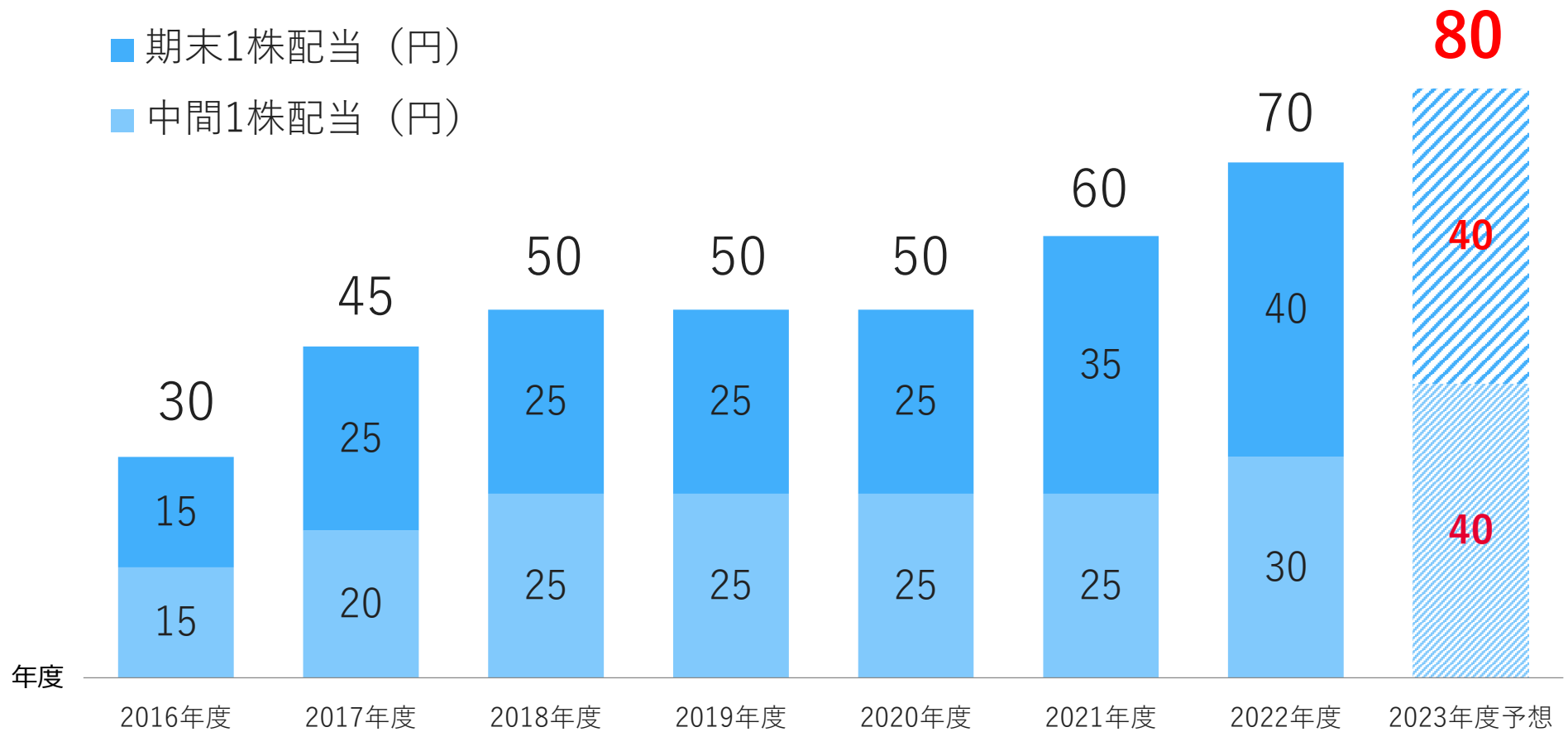
■ 売上高：億円

● 営業利益

● 当期利益：億円

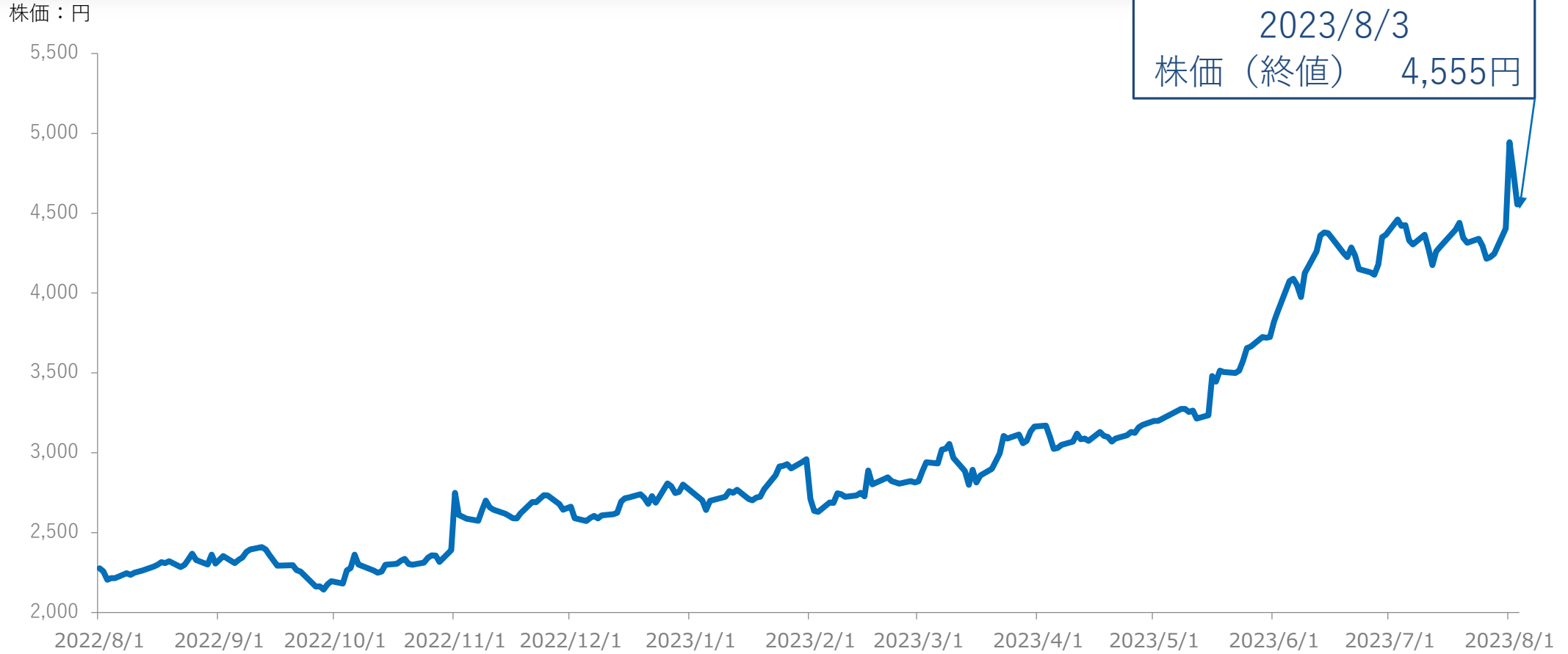


- 期末1株配当 (円)
- 中間1株配当 (円)



配当性向	52.7%	31.0%	24.5%	30.5%	34.3%	24.1%	14.2%	19.2%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

株価の推移



配当利回り*

1.8%

PER
(会社予想)*

10.9倍

PBR
(実績)

1.4倍

* 配当利回り・PER（会社予想）は
2023年8月3日終値（4,555円）で算出

第1四半期損益

単位：百万円

連結	22年度	23年度	前年比較	
	4 - 6 月期	4 - 6 月期	増減額	増減率
売上高	16,764	21,037	+4,273	+25.5%
営業利益	2,068	4,074	+2,006	+97.0%
経常利益	2,423	4,353	+1,930	+79.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,536	2,765	+1,229	+80.0%
			単位：円	
一株当たり 四半期純利益	80.20	144.31	+64.12	

為替の前提

米ドル

130円

ユーロ

130円

元

18円

4 中期経営計画について

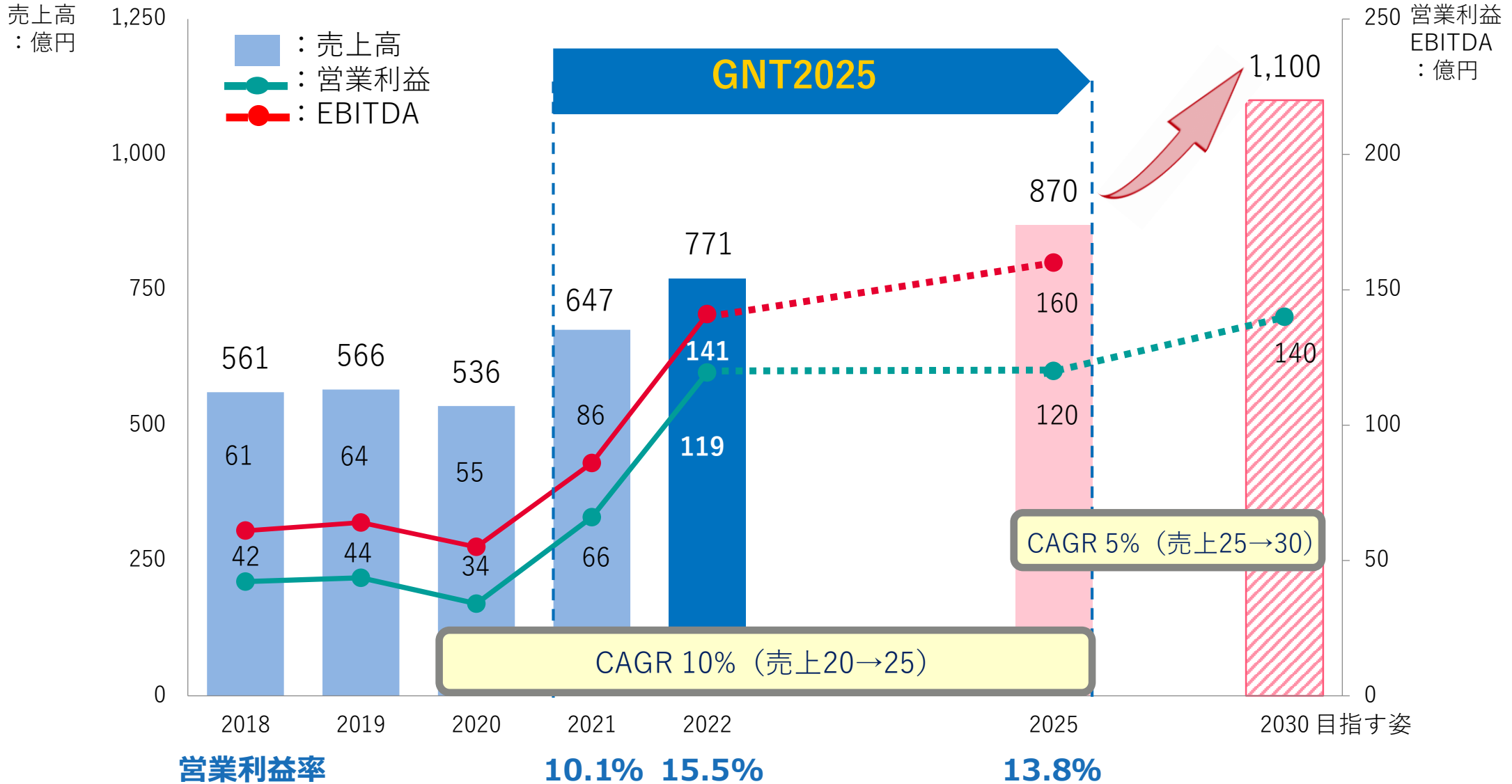
2023年5月 修正



～「違い」をつくり続けるグレートニッチトップ企業へ～

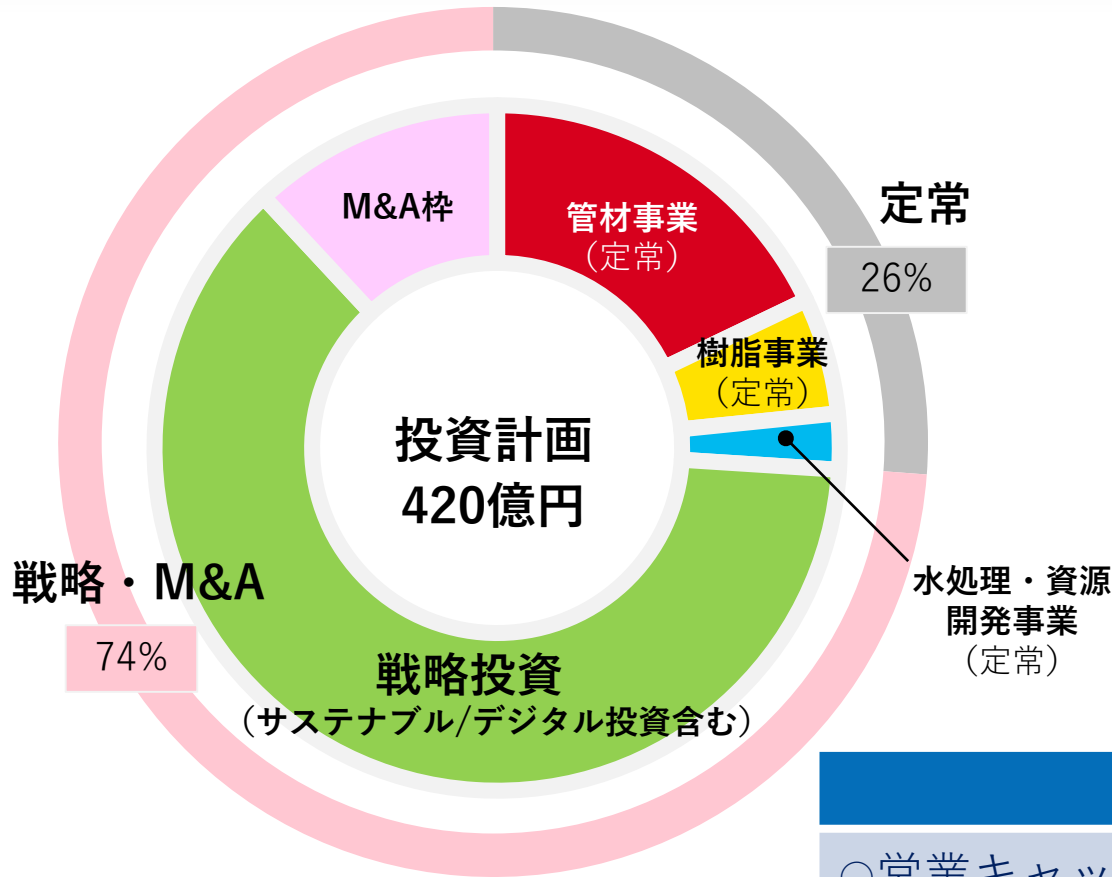
GNT2025~2030年度に向けて

M&A含まず



CAGR (Compound Annual Growth Ratio) : 年平均成長率

事業部	進捗した施策	新たな施策
管材システム 事業	海外市場・半導体市場 中国でのパイプ生産開始 アメリカの新工場建設 Dymatrixの海外拡販 Dymatrix生産能力の増強	海外市場・半導体市場 延岡製造所のスマート化 Dymatrix新工場の検討
樹脂事業	電子材料 愛知第二工場（建設中） 中国第一工場（増強中）	電子材料 国内第三工場の検討 中国第二工場の検討
水処理・ 資源開発事業		水処理 バイオガス発電分野への参入



当初の投資計画は **220億円**



修正後の投資計画は **420億円**
と200億円の増加

(戦略投資+190億円、定常投資+10億円)

M&Aの投資株を含む

資金の源泉

- 営業キャッシュフロー (資産の効率化含む)
- 不足分は借り入れによる調達 (D/Eレシオ 0.3を目安)

株主還元方針

- ・業績動向・財務体質・将来のための投資に必要な内部留保等を総合的に勘案し、安定配当を確保しつつ、継続的な収益拡大の達成による増配を目指す。

5 補足資料

- ・ 会社情報
- ・ 事業説明図（活躍場所）
 - 管材システム事業
 - 樹脂事業
 - 水処理・資源開発事業
- ・ ESGへの取組み
- ・ 事業活動とSDGsの関係
- ・ 財務データ（2013年度～2022年度）

■ 商 号	旭有機材株式会社
■ 延 岡 本 社	宮崎県延岡市中の瀬町2丁目5955番地
■ 東 京 本 社	東京都台東区上野3-24-6上野フロンティアタワー21階
■ 設 立	1945年3月12日
■ 資 本 金	50億10万円
■ 上 場	プライム市場
■ 証 券 コ ー ド	4216 (化学)
■ 株 式 売 買 単 位	100株
■ 従 業 員 数	1,652名 (2023年3月末現在・連結)
■ 年 間 売 上	770億99百万円 (同上)
■ 製 造 拠 点	(国内) 延岡・愛知・栃木・広島 (海外) 中国・インド・メキシコ
■ 代表取締役社長	中野 賀津也

管材システム事業 こんなところで活躍しています



ASAHI AV



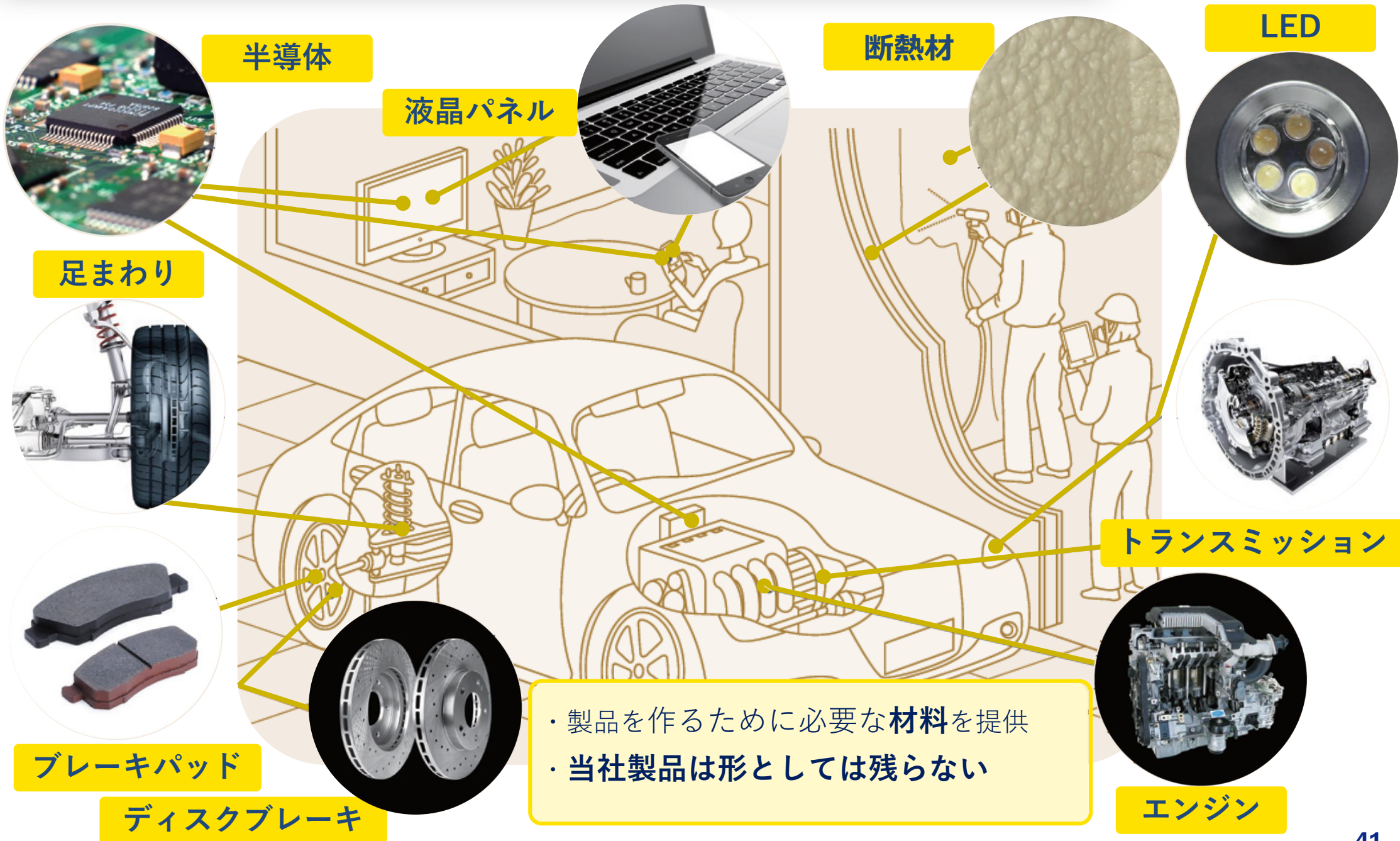
- ・ 化学工場
- ・ 半導体工場
- ・ 製鉄・非鉄精錬工場
- ・ 上下水道
- ・ 水族館
- ・ 農業パイプライン
- ・ 養殖場

・ 半導体工場の製造装置内

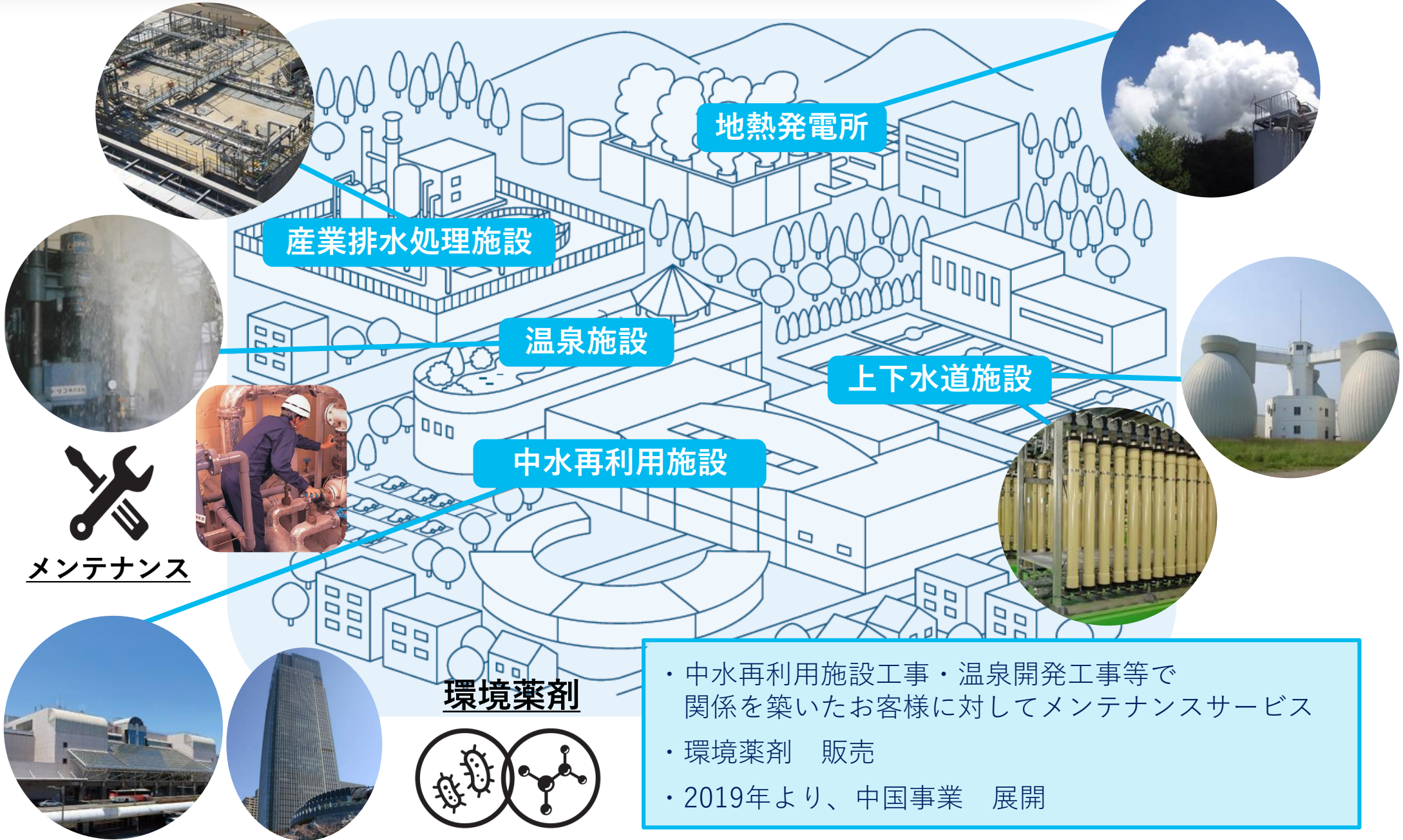
Dymatrix™



樹脂事業 こんなところで活躍しています



水処理資源開発事業 こんなところで活躍しています



- ・ 中水再利用施設工事・温泉開発工事等で関係を築いたお客様に対してメンテナンスサービス
- ・ 環境薬剤 販売
- ・ 2019年より、中国事業 展開

ESGについては最優先課題と位置づけ取り組む

2021年9月、サステナビリティ推進委員会を設置し、サステナビリティを巡る課題への取り組みを開始

《目的》

- 中長期的な企業価値の向上
- リスクの最小化と収益機会の拡大

《取り組む項目》

地球環境問題への配慮（TCFDに基づいた活動）

リスク管理（地球温暖化による自然災害など）

事業活動を通じたESGへの寄与

人的資本への投資（人財育成、働き方、処遇、多様性）

知的財産権やブランドの保護・活用

購買先との公正・適正な取引

お客様との公正・適正な取引

地域社会からの理解促進

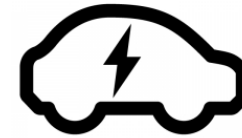
管材 (バルブ)

大規模な淡水化施設で使用可能な大型バルブの開発やICT技術を融合した自動給水栓など、世界の水資源問題に貢献できるバルブ開発に取り組んでいます。



樹脂 (素形材)

自動車のEV化で航行距離を伸ばすための鋳造部品の軽量化や寸法安定性を実現する鋳型原料（レジンコーテッドサンド）の開発や原料再生技術を開発することで世界の鋳物プロセスのお役立ちを追求しています。



樹脂 (発泡)

複雑な壁面形状や給湯配管等で断熱施工が難しい建設現場において、環境に優しい原料の製造や作業のし易い施工機械の開発、グループ会社と高品質の製品・サービスを提供し、施工現場へ安心・安全をお届けする取り組みを行っています。



管材 (Dymatrix) 樹脂 (電材)

成長著しい半導体分野において旭有機材が目指すイノベーションは「低メタル化・低パーティクル化」です。半導体製造工程における異物混入や、フォトレジスト中の不純物の削減に当社の技術力・製造力で貢献し、グレートニッチトップを目指します。



水処理 資源開発

日本の地熱発電は高い発電コストが課題となっています。掘削期間の短縮によるコストの削減を目指すことで、地熱発電の発展に寄与し、再生可能エネルギーの割合拡大と温室効果ガスの排出抑制に貢献します。



財務データ

(2013年度~2022年度)

単位：百万円	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
売上高	38,057	40,837	41,547	42,029	50,174	56,083	56,581	53,551	64,732	77,099
営業利益	1,172	1,197	1,591	2,062	3,362	4,224	4,368	3,404	6,575	11,947
経常利益	1,649	1,764	1,525	1,944	3,402	4,390	4,395	3,648	7,012	12,140
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,004	1,151	926	1,091	2,785	3,902	3,138	2,789	4,773	9,425

単位：百万円	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総資産	53,811	57,697	53,202	55,040	62,884	62,541	65,779	67,732	74,925	86,256
負債	15,945	18,588	15,061	16,133	21,382	19,362	21,538	20,624	23,058	25,077
純資産	37,866	39,108	38,141	38,906	41,502	43,179	44,241	47,108	51,867	61,179

単位：百万円	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
自己資本	37,609	38,823	37,869	38,642	41,137	42,765	43,856	46,667	51,363	60,613

単位：円	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一株当たり純資産 ※1	1,925.65	2,025.25	1,975.75	2,016.30	2,146.82	2,235.15	2,292.23	2,436.63	2,681.92	3,163.80

単位：百万円	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一株当たり年間配当 (円) ※2	30.00	30.00	30.00	30.00	45.00	50.00	50.00	50.00	60.00	70.00
第2四半期末 (円)	15.00	15.00	15.00	15.00	20.00	25.00	25.00	25.00	25.00	30.00
期末 (円)	15.00	15.00	15.00	15.00	25.00	25.00	25.00	25.00	35.00	40.00
配当金総額	586	581	576	575	866	964	963	962	1,154	1,347
第2四半期末	293	293	288	288	384	482	482	481	481	581
期末	293	288	288	288	482	482	481	481	673	766

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
ROA	2.0%	2.1%	1.7%	2.0%	4.7%	6.2%	4.9%	4.2%	6.7%	11.7%
ROE	2.7%	3.0%	2.4%	2.9%	7.0%	9.3%	7.2%	6.2%	9.7%	16.8%
株主資本比率	69.9%	67.3%	71.2%	70.2%	65.4%	68.4%	66.7%	68.9%	68.6%	70.3%
D/Eレシオ	0.01	0.04	0.02	0.02	0.04	0.06	0.09	0.08	0.05	0.04

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
配当性向	58.4%	50.5%	62.0%	52.7%	31.0%	24.5%	30.5%	34.3%	24.1%	14.2%
総還元性向	58.6%	94.5%	62.4%	52.9%	31.2%	24.8%	30.7%	34.5%	24.2%	14.3%
自社株取得（千円）	1,869	506,786	2,915	1,398	3,099	3,130	1,018	653	718	1,067

単位：百万円	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,225	2,513	1,845	2,492	3,012	2,240	6,194	3,420	7,175	5,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,193	△3,019	△1,128	△2,064	△1,789	△1,536	△3,820	△2,069	△1,655	△4,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	△382	△170	△1,134	△746	△239	△773	19	△1,146	△2,064	△1,871
現金及び現金同等物の期末残高	8,437	7,937	7,510	7,092	8,088	7,912	10,232	10,398	14,311	13,928

従業員数（単位：人）	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	1,190	1,219	1,223	1,246	1,355	1,438	1,540	1,559	1,555	1,653

単位：円	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
1株当たり当期純利益※	51.40	59.35	48.35	56.93	145.31	203.95	164.01	145.67	249.21	491.99
総資産経常利益率	3.3%	3.2%	2.8%	3.6%	5.8%	7.0%	6.8%	5.5%	9.8%	15.1%
売上高経常利益率	4.3%	4.3%	3.7%	4.6%	6.8%	7.8%	7.8%	6.8%	10.8%	15.7%
売上高営業利益率	3.1%	2.9%	3.8%	4.9%	6.7%	7.5%	7.7%	6.4%	10.2%	15.5%

単位：百万円

セグメント別売上高	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
管材システム事業	21,113	21,734	23,750	22,907	27,585	33,544	32,169	30,823	37,725	48,532
樹脂事業	12,980	13,635	12,686	12,202	15,254	16,254	17,215	15,891	18,608	20,550
水処理・資源開発事業	3,963	5,468	5,110	6,921	7,335	6,285	7,197	6,837	8,398	8,017
合計	38,057	40,837	41,547	42,029	50,174	56,083	56,581	53,551	64,732	77,099

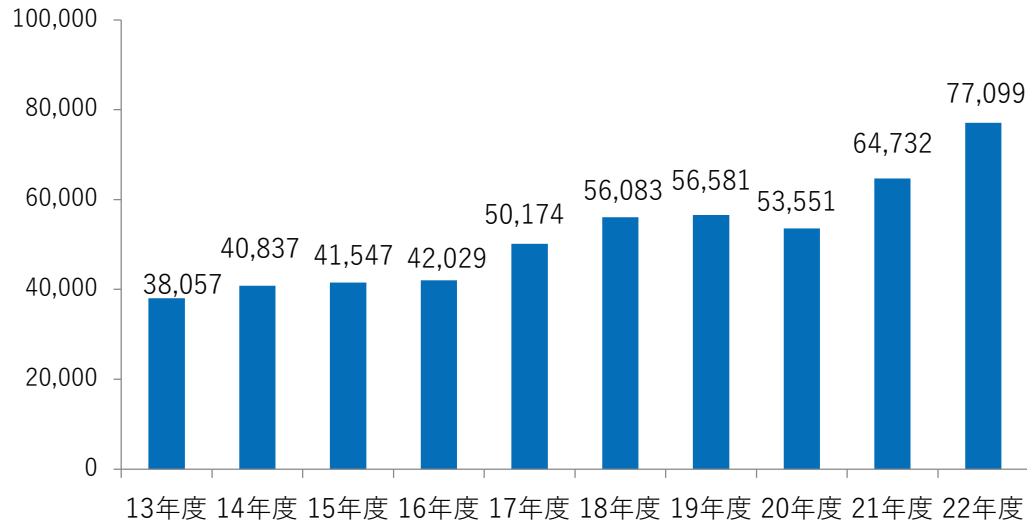
単位：百万円

セグメント別営業利益	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
管材システム事業	1,104	1,187	1,961	1,828	2,354	3,545	2,552	2,136	4,897	10,669
樹脂事業	△290	△284	△520	71	874	672	1,151	930	819	801
水処理・資源開発事業	422	274	86	173	172	39	502	205	724	472
合計	1,172	1,197	1,591	2,062	3,362	4,224	4,368	3,404	6,575	11,947

セグメント別営業利益率	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
管材システム事業	5.2%	5.5%	8.3%	8.0%	8.5%	10.6%	7.9%	6.9%	13.0%	22.0%
樹脂事業	△2.2%	△2.1%	△4.1%	0.6%	5.7%	4.1%	6.7%	5.9%	4.4%	3.9%
水処理・資源開発事業	10.7%	5.0%	1.7%	2.5%	2.3%	0.6%	7.0%	3.0%	8.6%	5.9%
合計	3.1%	2.9%	3.8%	4.9%	6.7%	7.5%	7.7%	6.4%	10.2%	15.5%

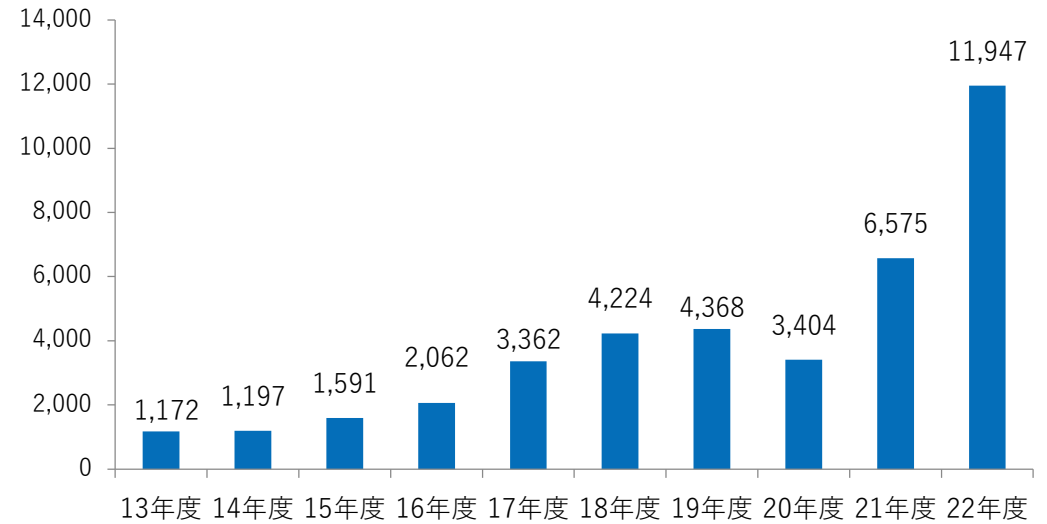
売上高

(単位：百万円)



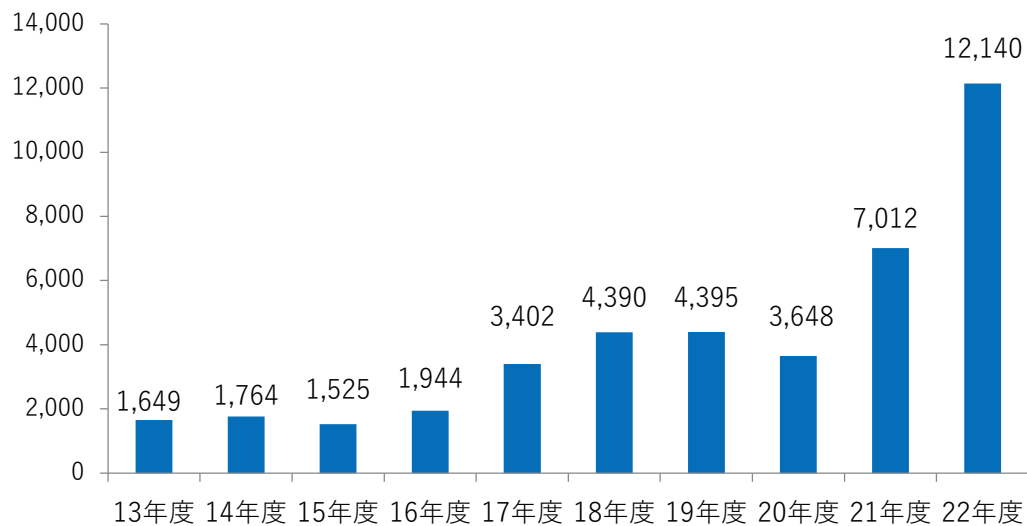
営業利益

(単位：百万円)



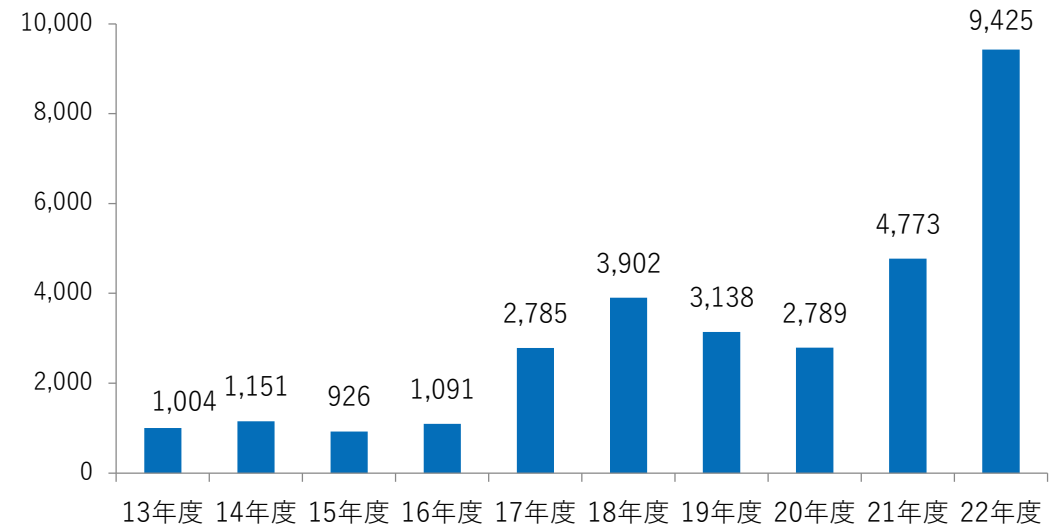
経常利益

(単位：百万円)



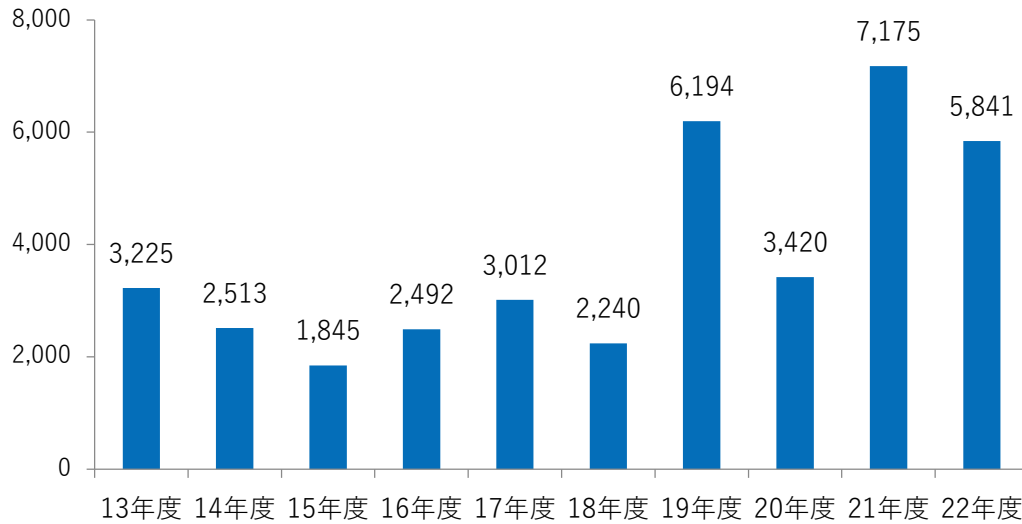
親会社に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



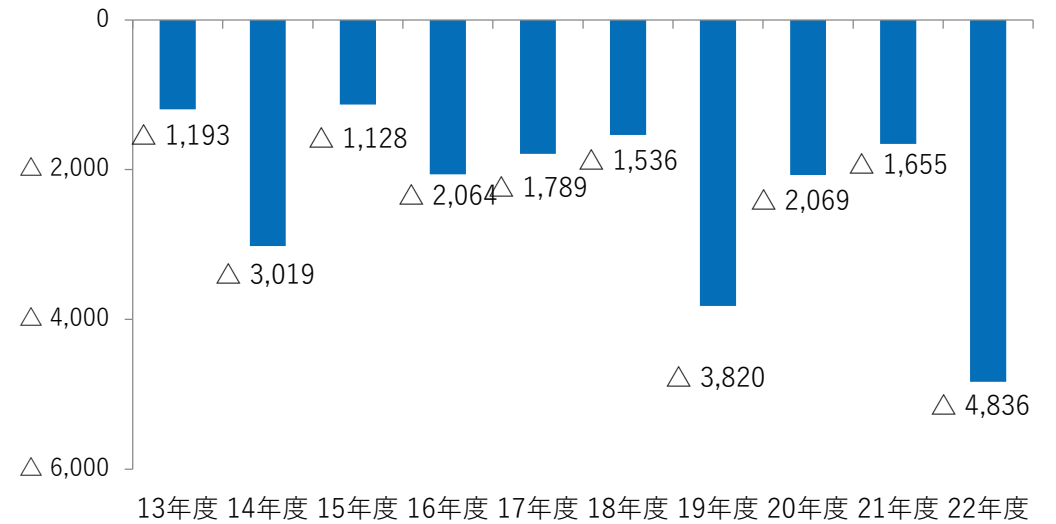
営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



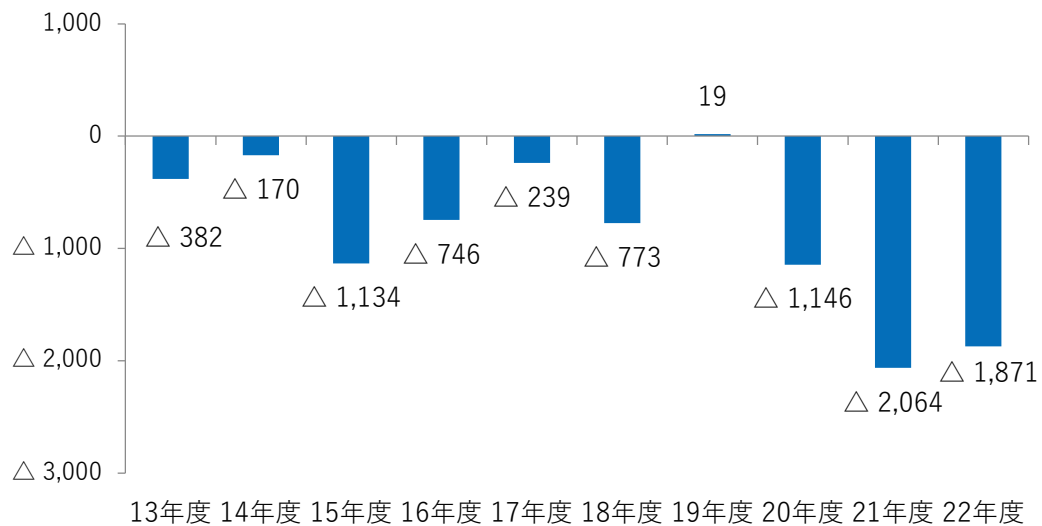
投資活動によるキャッシュ・フロー

(単位：百万円)

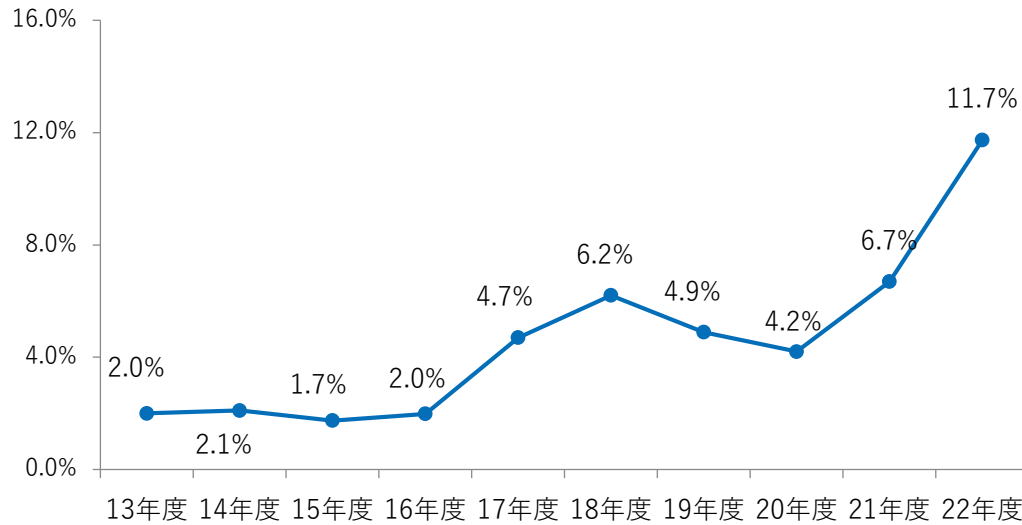


財務活動によるキャッシュ・フロー

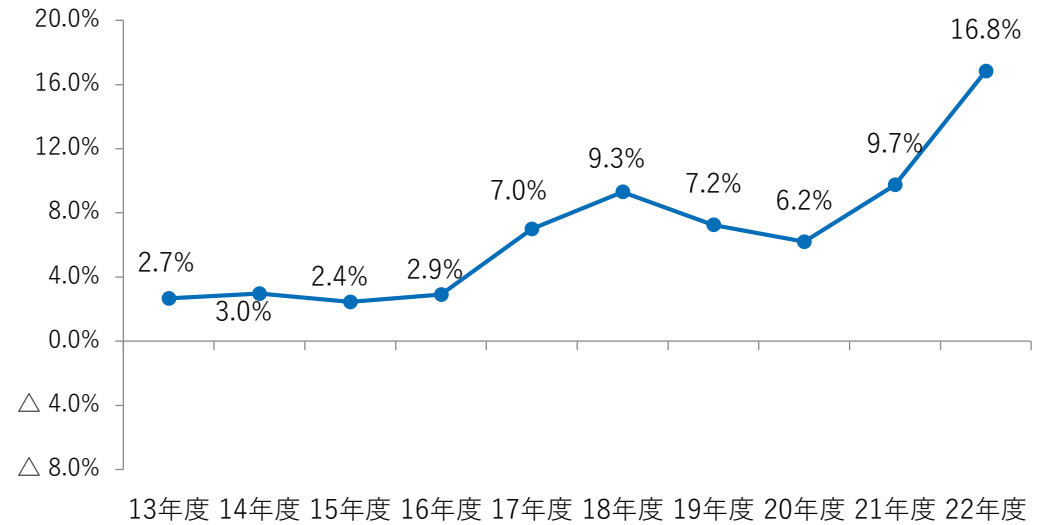
(単位：百万円)



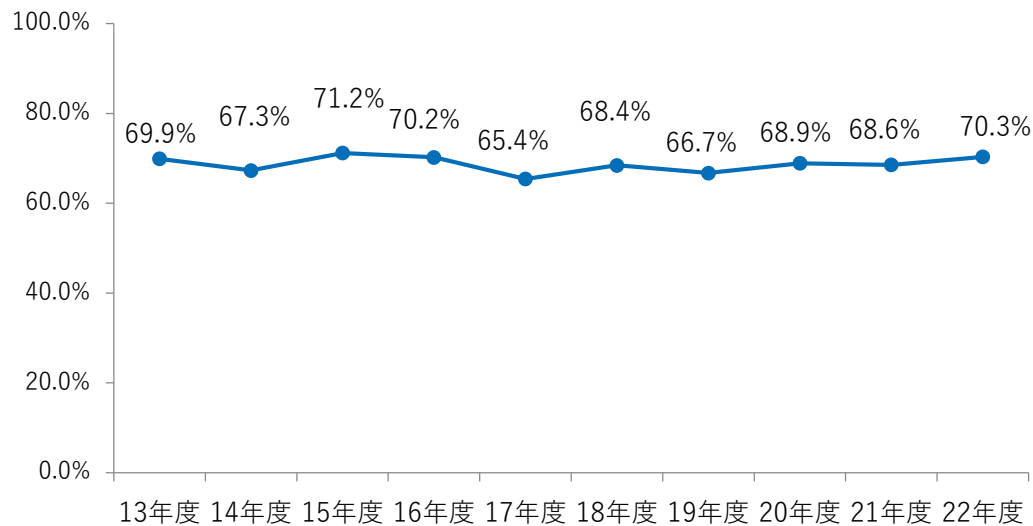
ROA



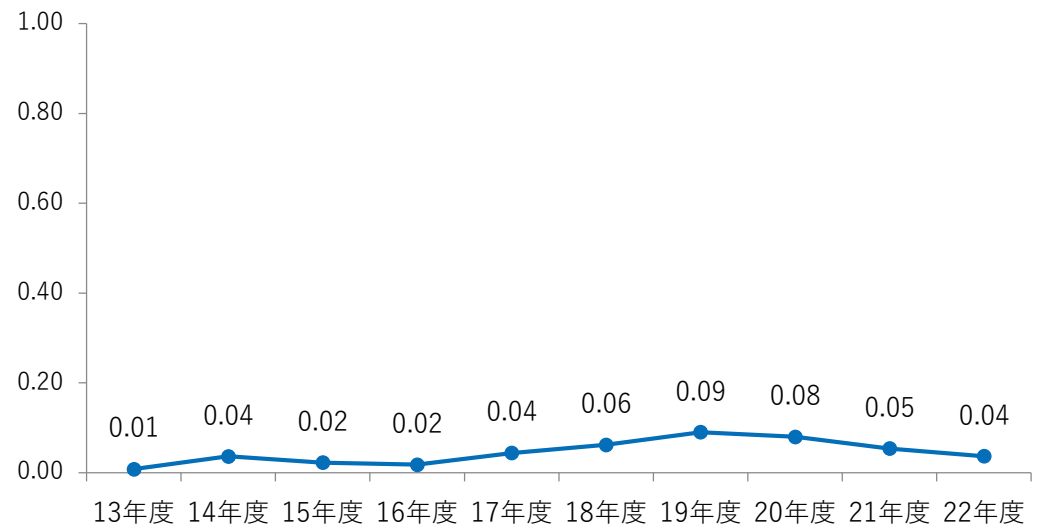
ROE



株主資本比率

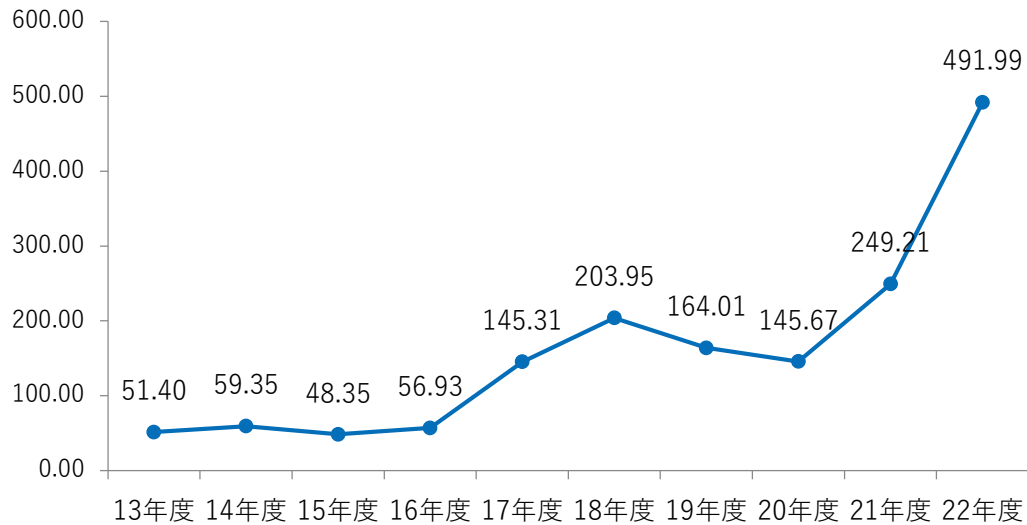


D/Eレシオ



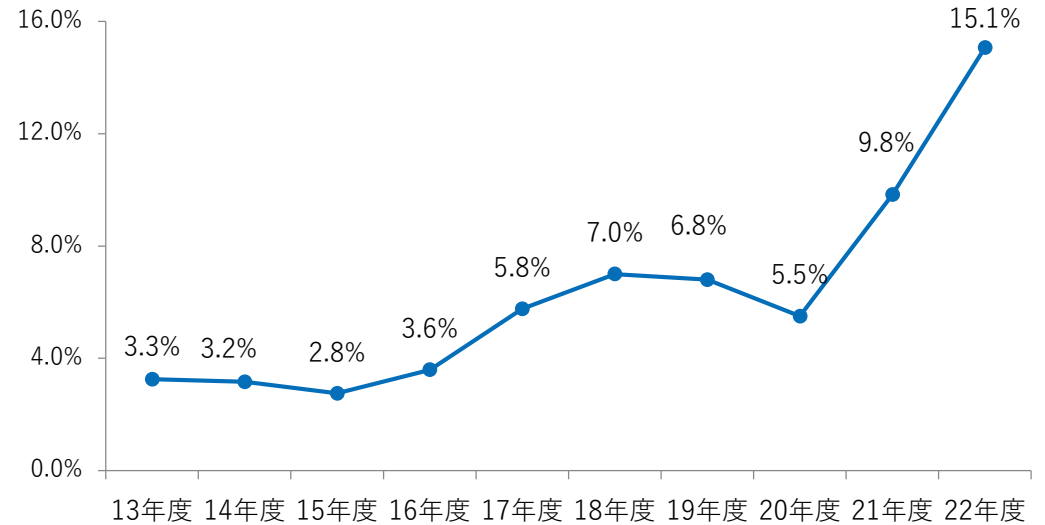
一株当たり当期純利益

(単位：円)

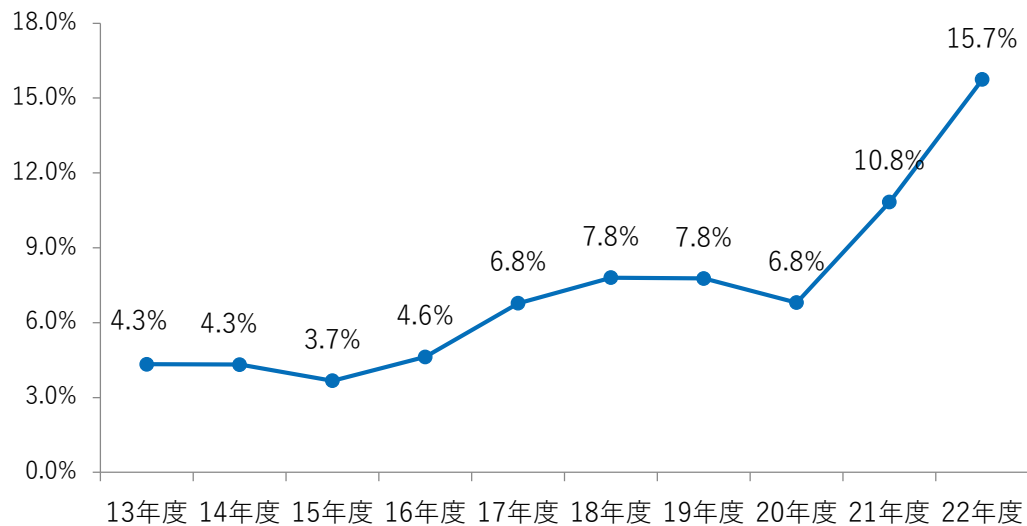


※過去データも株式併合後ベースで算出

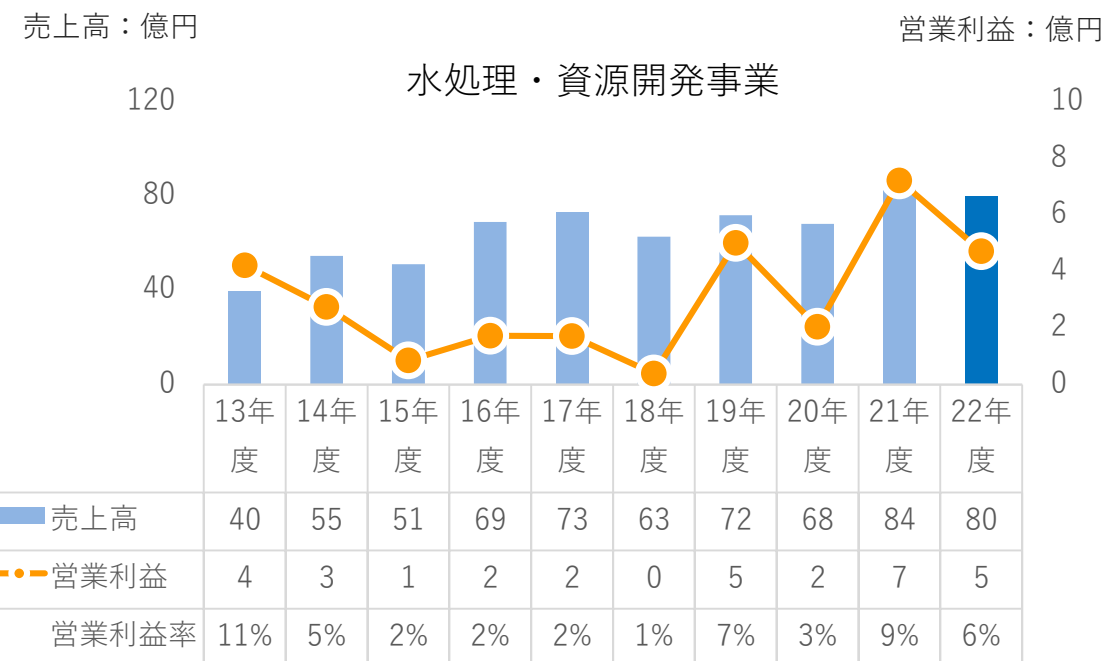
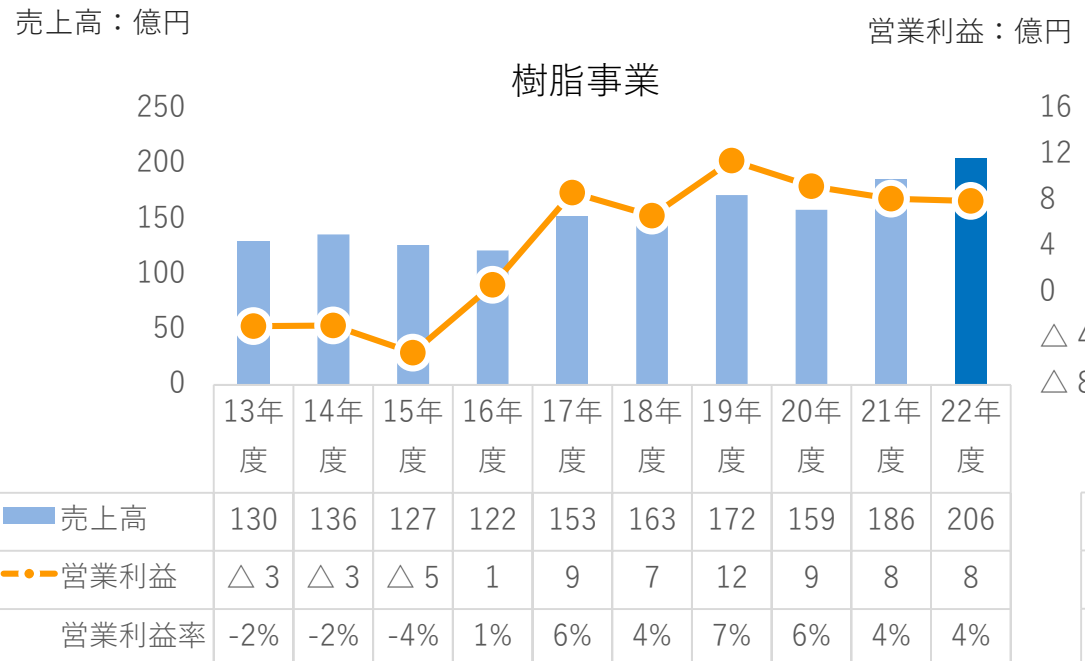
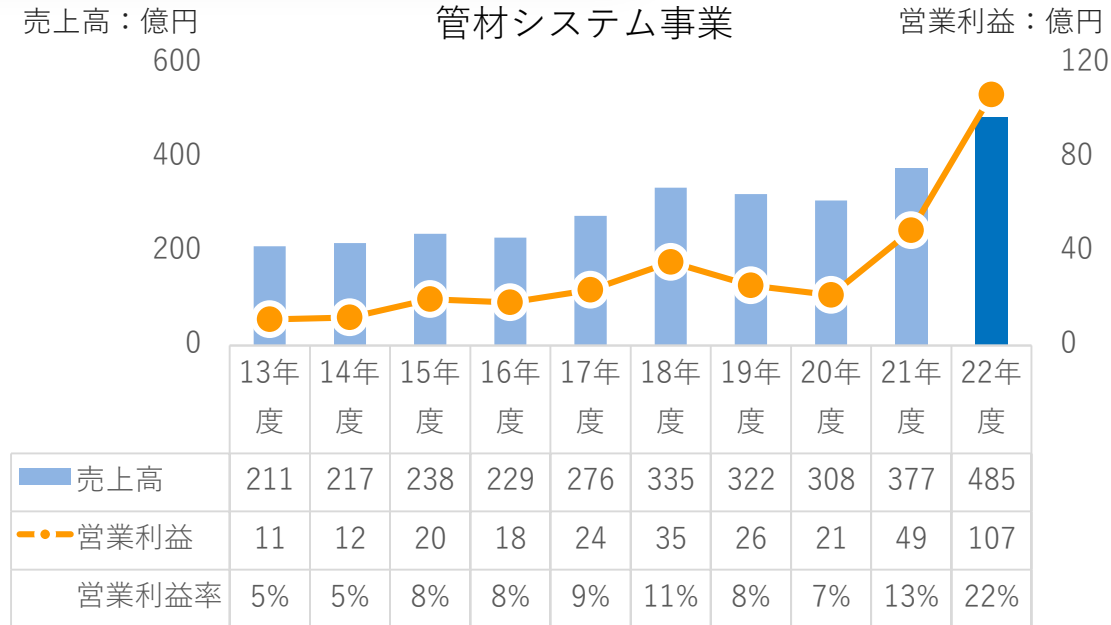
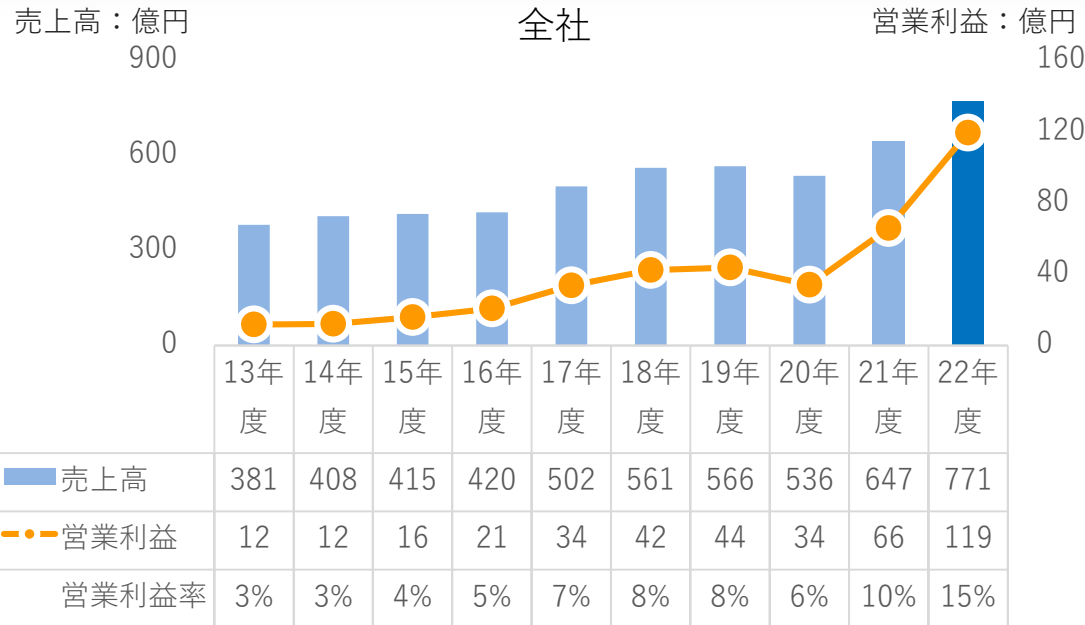
総資産経常利益率



売上高経常利益率



セグメント別 損益推移



証券コード 4216（化学）

注意事項

本資料における予想・見通しは、資料作成時点において入手可能な情報により弊社が判断したものです。将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。